

岡崎駅東土地区画整理事業・シビックコア地区整備事業

まちづくり情報ひろば

まちづくり講演会 2013

五十嵐太郎氏講演会 震災復興活動から、
JR岡崎駅周辺のまちづくりを考える

主催：出合いの駅おがさき推進協議会、岡崎信用金庫南部ダリヤ会、岡崎市、特定非営利活動法人アースワーカーエナジー、一般社団法人アーキエイド

平成 25 年 10 月 24 日（木）にシビックセンター 4F コロネットにおいて、東北大学大学院工学研究科教授であり、あいちトリエンナーレ 2013 の芸術監督である五十嵐太郎氏を講師としてお迎えし、「震災復興活動から、JR岡崎駅周辺のまちづくりを考える」という演目で、まちづくり講演会 2013 を開催しました。



五十嵐太郎
東北大学大学院工学研究科
教授

講演会では、講師自身が東日本大震災で被災した体験談から、建築家による復興支援ネットワークであるアーキエイドの結成、監督を務めたあいちトリエンナーレでのまちなか展開の事例を紹介され、どのようにまちづくりに生かしていくかアドバイスをいただきました。

建築家による復興支援ネットワークであるアーキエイドの活動では、住民参加で「みんなの家」と呼ばれる集会所を設計することで、スピード重視で建設された仮設住宅でコミュニティの再築を図る試みなどについてお話されました。

あいちトリエンナーレについては、

講師が被災地を自分の足で歩いた経験から、場所、記憶、復活をテーマにした背景や、まちなかの記憶をどう掘り起こしていくか、事例を紹介しながらアドバイスいただいたほか、平成 25 年 4 月 1 日に岡崎アート広報大臣に就任したオカザえものの誕生の経緯についてもお話されました。

この講演会は、区画整理事業が進行する岡崎駅東地区における地域や社会のニーズを踏まえた望ましいまちづくりの推進、まちづくり意識の高揚を目的として、毎年 1 回開催しています。



約 400 名の方がご来場されました。
ありがとうございました

～質疑応答の一部を紹介します～

Q あいちトリエンナーレのような大きなイベントに頼らずに、JR岡崎駅周辺だけで小規模で開催しようと思うとどんな工夫がいるのでしょうか？

A 予算が少なくても一つの予算に頼りきりではなく、複数のところから資金を得るマルチファンディングという手法で継続させている「中之条ピエンナーレ」という事例がある。アーティストがそこで暮らし、長い時間をかけて作品を創る場を設けている。そうすることでネームバリューがなくても心を打つ作品ができる。また、期間外にも来てくれるよう飲食店やベンチを整備するなどコミュニティを発信する場を創出する工夫が必要であると思う。



ポケットパーク設計ワークショップ

羽根北町内会 平成 25 年 8 月 4 日 シビックセンター
羽根東町内会 平成 25 年 8 月 24 日 羽根東町民館

歩行者重視道路の沿線に整備されるポケットパークについて、羽根北・羽根東の二つの町内会でワークショップを開催しました。

羽根北 ニンドウの広場



グループワーク①

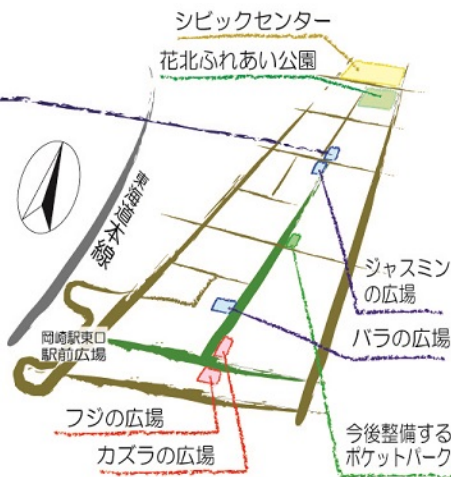
どんなポケットパークにしたいか、思いついたことを付箋に書いてもらいました。

「みんなの思い出になるポケットパークって何だろう？」

グループワーク①で出た意見について新しいグループで意見交換をしました。設計に生かすため具体的なアイデアを考えます。



グループワーク②



ワークショップで出た意見（抜粋）

温度計、時計、風見鶏、アーチ、真ん中にシンボルツリーを植える（桜）、子供会のラジオ体操ができるようにする、ジャングルジム、鉄棒、天気予報（人が通るとしゃべる）、地面がかわいい模様がよい（丸：ケンケンパ、オカザえもんなど）、トランポリン、つるのゲート、足湯、木の木陰（クスノキ）、井戸（せせらぎ、噴水）…



グループワーク③

出てきた意見をもとに模型を使って、ポケットパークのレイアウトを考えました。



模型

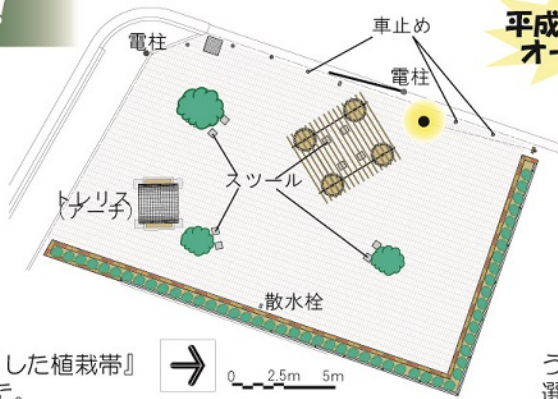
▲レイアウト（案）

設計イメージ！



※イメージ

- ①『シンボルとなるアーチ』
 - ②『作業しやすいよう一段高くした植栽帯』
- の二つの意見を取り入れました。



平成 26 年春
オープン！



※イメージ

座りやすいよう四角のものを選びました。

ニンドウの広場（イメージ）



花のお姉さんこと林加代子先生にワークショップのアドバイザーを務めていただきました。

どんなポケットパークにしたいか、ジャスミンの広場とバラの広場のグループに分かれて考えました。



グループワーク①

ワークショップで出た意見（抜粋）

大きめのパーゴラ（休める場所）、隣地の目隠しに木を植える、照明灯の点灯時間は12時まで（節電）、探っていい・さわっていい植物がある、遊べる草が生える（シロツメクサとか）、公園のタイルでオカザえもんの顔を描く、子どもが帰りの時間が分かるように時計を置く、パーゴラ以外にも違う種類のバラを植える、水飲み場（水場）うるおい、噴水、彫刻（芸術作品）オブジェ、ごみ集積場（鍵をかける）



グループワーク②

出てきた意見をもとに模型を使って、ポケットパークのレイアウトを考えました。



意見交換

それぞれのグループの力作を和気あいあいと意見交換しました！

力作はこちら！



設計イメージ！

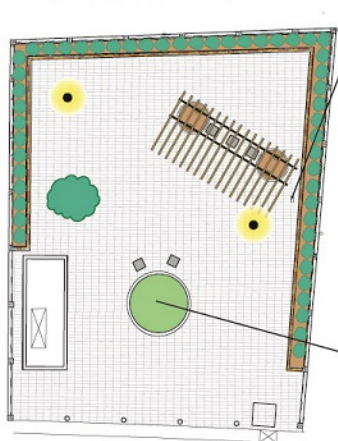
①『探っていい、触れる植物が生える』の意見を取り入れ、シロツメクサなどの遊べる植物が生えるよう丸い植栽樹を配置しました。

その他の植栽については、できるだけ地域の植生にあった植物を植えたいと考えています。



▲左バラの広場／右ジャスミンの広場

バラの広場（イメージ）



散水栓

植栽樹



0 2.5m 5m

ジャスミンの広場（イメージ）

平成26年春
オープン！

変貌する JR 岡崎駅周辺

J R 岡崎駅前は、平成 31 年度の事業完了に向け岡崎駅東土地区画整理事業が進められております。事業の完了に伴い、町名や地番が変更になりますので、今後新しい町名や地番の検討をしていくことになります。区画整理事業によって変貌した J R 岡崎駅周辺の整備前、整備中、現在の航空写真で町名がどのように変わってきたかをご紹介します。



— 旧町界

..... 岡崎駅東土地区画整理事業

①羽根町 ②柱町 ③上和田町 ④六名町 ⑤戸崎町 ⑥明大寺町
⑦大西町 ⑧美合町 ⑨若松町 ⑩針崎町 ⑪井内町 ⑫宮地町

昭和 43 年の航空写真と当時の町界（昭和 44 年都市計画基本図より作成）



昭和 40 年代の岡崎駅

当時は木造の駅舎で、昭和 37 年まで駅前からチンチン電車と呼ばれていた路面電車が走っていました。



昭和 32 年の路面電車

J R 岡崎駅周辺の整備は、昭和 44 年の市施行による南部土地区画整理事業にはじまり、昭和 47 年には柱土地区画整理事業、昭和 48 年には羽根土地区画整理事業と、区画整理事業によって市街地を拡大していきました。

当時の航空写真から、羽根町長池のあたりに競馬場があったことが分かります。昭和 28 年ごろまで競馬を開催していたそうです。

また、当時は現国道 248 号線、県道 48 号線（岡崎刈谷線）は整備されていませんでした。

区画整理の進むJR岡崎駅周辺

— 市施行中 — 組合施行中
---- 岡崎駅東土地区画整理事業（予定）

番号	主体	事業名	事業年度
①	市	南部	S44年～S54年
②	市	岡崎駅西	S50年～H15年
③	市	岡崎駅東	H2年～H31年
④	組	若松	S46年～S55年
⑤	組	柱	S47年～H9年
⑥	組	緑丘	S48年～S62年
⑦	組	羽根	S48年～S55年
⑧	組	城南	S51年～S54年



昭和 53 年の航空写真と当時施行中の区画整理事業

昭和 53 年は、2つの市施行、5つの組合施行による区画整理事業が同時に進められており、JR岡崎駅周辺が大きく変貌しました。昭和 43 年の航空写真にはなかった国道 248 号線、県道 48 号線（岡崎刈谷線）の整備は、区画整理事業と並行して進められていきました。

岡崎駅東土地区画整理事業のはじまり



— 岡崎駅西土地区画整理事業 ---- 組合施行済
---- 岡崎駅東土地区画整理事業 — 組合施行中
---- 市施行済

平成 4 年の航空写真と拡大した市街地

平成 2 年には、先に整備を進めていた岡崎駅西土地区画整理事業に続き、岡崎駅東土地区画整理事業が始まりました。

平成 4 年ごろになると、組合施行による区画整理事業がほぼ完了し、国道 248 号線、県道 48 号線（岡崎刈谷線）が整備されたことで、岡崎駅周辺は一変しました。昭和 53 年の航空写真と比べると、国道 248 号線の東側にかけて市街地が拡大していく様子が分かります。

▼駅前広場周辺



▲細く折れ曲がった路地

現在の町界について



- 現在の町界
- 岡崎駅東土地
区画整理事業
- 岡崎駅南土地
区画整理事業
- (仮) 針崎東・若松東
土地区画整理事業

- ① 羽根町
- ② 柱町
- ③ 針崎
- ④ 柱
- ⑤ 羽根西新町
- ⑥ 羽根西
- ⑦ 羽根北町
- ⑧ 羽根東町
- ⑨ 柱曙
- ⑩ 針崎町
- ⑪ 上和田町
- ⑫ 城南町
- ⑬ 江口
- ⑭ 戸崎元町
- ⑮ 中田町
- ⑯ 戸崎町
- ⑰ 明大寺町
- ⑱ 不吹町
- ⑲ 庄司田
- ⑳ 緑丘
- ㉑ 若松東
- ㉒ 若松町
- ㉓ 井内町
- ㉔ 宮地町

平成 24 年の航空写真と現在の町界と施行中の区画整理事業（予定含む）

区画整理事業によって羽根町、柱町、針崎町、若松町がそれぞれ分割され新しい町が多く誕生しました。J R 岡崎駅周辺では、現在、岡崎駅東土地区画整理事業のほか、組合施行による岡崎駅南土地区画整理事業の 2 つの区画整理事業が施行されており、J R 岡崎駅の南東では「(仮) 針崎東・若松東土地区画整理事業」が計画されています。

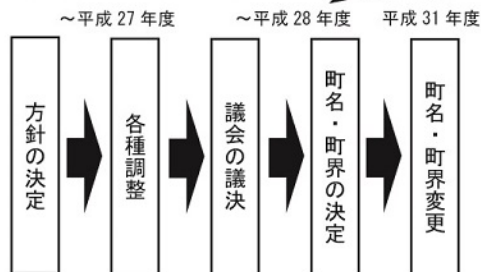
街づくり 新町名・町界への変更について

平成 31 年度の区画整理事業の完了に伴い、新しい町名と地番に変更になります。新しい町名と地番については、今後調整を図りながら検討していく予定です。

【お問合せ先】

市街地整備課換地清算班 電話 23-6272
総務班 電話 23-6264

▼ 新町名・町界決定のフロー 予定



発行日：平成26年3月

発行：岡崎市

企画編集：岡崎市都市整備部市街地整備課
出合いの駅おかざき推進協議会
岡崎商工会議所

お問合せ先：〒444-8601 岡崎市十王町二丁目9番地

岡崎市都市整備部市街地整備課計画班

電話 (0564) 23-6280

FAX (0564) 23-5988

Eメール shigaichisei@city.okazaki.aichi.jp

岡崎市ホームページ：http://www.city.okazaki.aichi.jp

70

古紙・バブル紙配合率
70%再生紙使用